

東海道五十三次

鈴鹿峠

坂下宿

さがした。坂下。
街道ウォーク

里めぐり



東海道 品川から48番目の宿場 坂下宿

東海道の難所、鈴鹿峠のふもとに 旅人たちが体と心を癒した 坂の下の旅宿「坂下宿」があった。

古くは平安時代に、すでに人々が行き交いし

室町時代には鈴鹿峠周辺に宿が生まれていた坂下宿。

1650年(慶安3)の大洪水により壊滅し、

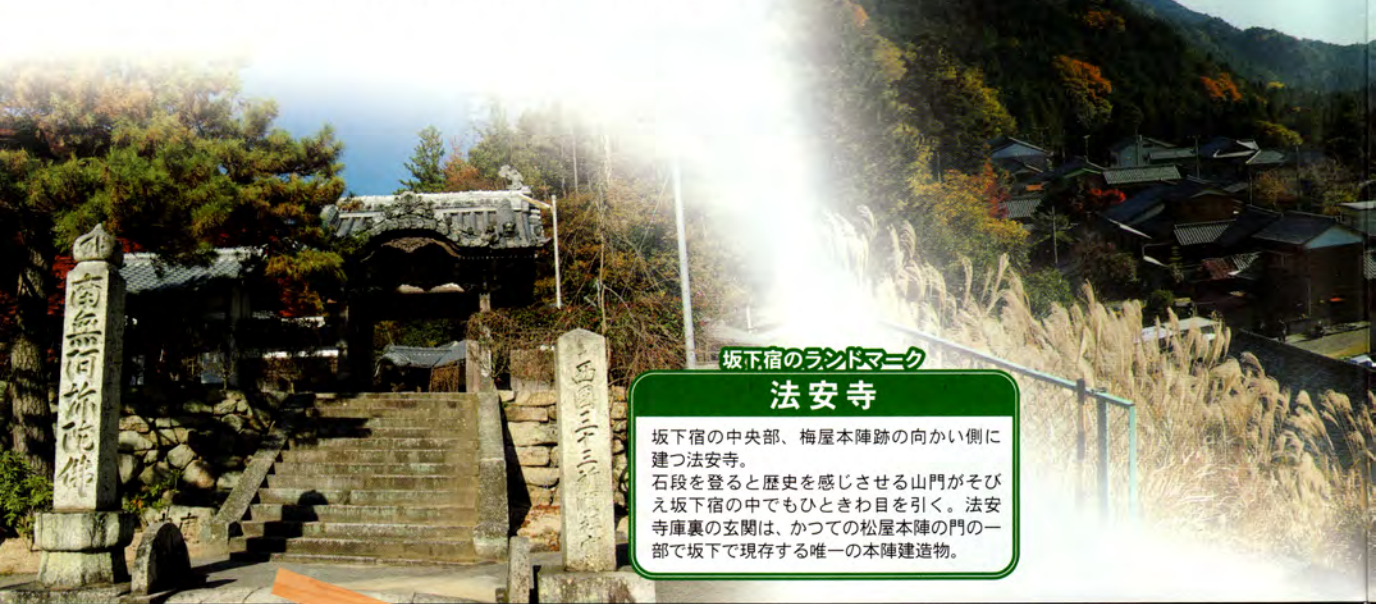
1kmほど下流に移転して復興されたのが現在の坂下宿である。

江戸時代後期には本陣3軒、脇本陣1軒、旅籠48軒を数え

東海道有数の宿場として栄えていた。

険しい鈴鹿峠には多くの伝説が残り、歴史を今に伝えるとともに

坂下宿ののどかな風景は、訪れる人々をやさしく包んでくれる。



坂下宿のランドマーク

法安寺

坂下宿の中央部、梅屋本陣跡の向かい側に建つ法安寺。

石段を登ると歴史を感じさせる山門がそびえ坂下宿の中でもひととき目を引く。法安寺庫裏の玄関は、かつての松屋本陣の門の一部で坂下で現存する唯一の本陣建造物。

多くの伝説を残した 鈴鹿峠

鈴鹿の険しい山を縫うように越える鈴鹿峠。

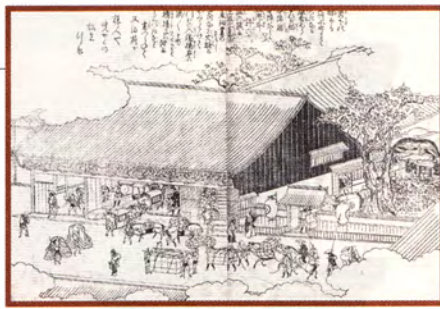
古くは“阿須波道(あすはみち)”と呼ばれ886年(仁和2)に開通したとされている。歴史が古いことから、今昔物語にも登場する鈴鹿峠は、数々の伝説を残したことで知られている。



鈴鹿峠の伝説 ①

たてえぼし 立烏帽子

鈴鹿山に現れたという絶世の美女の山賊。鈴鹿山の山賊・悪路王の妻であったが、勅命で悪路王を退治にきた坂上田村麻呂に惚れ、田村麻呂が悪路王を討つために手を貸し、のちに田村麻呂の妻となったという。



●坂下宿大竹屋本陣の賑わい(東海道名所図会)

鈴鹿馬子唄にも謡われている大竹屋本陣。絵に描かれている母屋前面の竹の彫刻、本陣御殿部への門や、唐破風の玄関などが描かれている。



●保永堂版 東海道五十三次 筆捨嶺(歌川広重作)

関宿と坂下宿の間にある筆捨山を描いた作品。江戸時代からの景勝地。現在も同じ位置から景観を楽しめる。絵に描かれた滝は現実にはない。



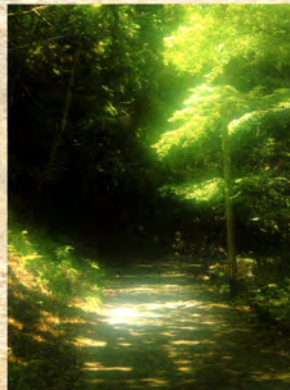
ビューポイント①



鈴鹿峠の伝説 ②

盗賊と蜂

今昔物語に載せられている話。都の裕福な商人が鈴鹿山を越えていたところ、山賊に襲われ荷物を奪われたが、大きな蜂の大群が山賊を取り囲み、刺し殺した。この蜂は昔段から商人が大事に育てていたもので、蜂のおかげで商人は助かり、山賊が奪っていた宝物も手にいれたという。



鈴鹿峠の伝説 ③

琴の橋

かつて天皇家の秘宝のひとつであった和琴・鈴鹿。この琴の名の由来は鈴鹿川にかかる桐の橋板から作られたことからで、『平家物語』にも登場している。片山神社近くにあった古町の小川にかけられていたという。

野鳥のさえずりが春を告げれば
坂下の里を花々が彩る。

Sakashita Spring

鈴鹿峠のふもとにある坂下周辺では
里山ならではののどかで
静かな春の風景が広がる。



- ① 鈴鹿の山々を背景に赤く咲くしゃくなげの花
- ② 諸戸の山林近くに春を告げるさくら
- ③ 山が迫る坂下では野生の鹿が顔を見せることも



坂 下 宿

華やかな山ざくらが春を謳歌すれば、
錦が山々を彩る坂下の秋が過ぎると、



錦に染まる三子山を眺め
もみじが美しい片山神社を訪ねよう。

Sakashita Autumn

稲刈りが終わる頃、
里山は秋風とともに
少しずつ秋色に染まっていく。

- ⑦ その存在感に圧倒される
鈴鹿峠自然の家のもみじ
- ⑧ 法安寺の境内も秋色に染まります
- ⑨ 杳々に咲くひがんなどと
遠く三子山が望める





蝉しぐれが響き渡る鈴鹿峠の山々。
夏の夜空に広がる天の川に見とれて。

Sakashita Summer

夏の山は涼やかで快適。
満天の星空のもと
小川で光りだすホテルを探そう。



④ 鈴鹿峠の沢から湧き出る
鈴鹿川上流域の清流

⑤ 新月の夜は天の川や満天
の星を見ることができる

⑥ 坂下宿に沿って流れる小
川は天然の水遊び場

の 四 季

清流の涼しさに夏を感じて。
すばる煌めく冬の夜空が美しい。



鈴鹿おろしが連れてくる寒い冬、
静かな銀色の坂下宿も素敵。

Sakashita Winter

寒さのなかに煌めく
水墨画のようにグレイの世界を楽しもう。



⑩ 鈴鹿馬子唄会館沿いの道
に建つ、宿場をシンボリック
にイメージしたオブジェ
群の向こうに冬の三子山を
望む

⑪ 冬の星・スバルが美しく
輝く坂下の夜空

⑫ 鈴鹿峠自然の家によく似
合う雪だるま

坂下宿街道ウォークマップ°

趣のある坂下宿を東海道に沿って歩く8つのコース。
鈴鹿峠周辺の歴史と自然を満喫しよう。^[※1]



※1 A～Eまでのメインコースと、組み合わせて歩けるF・G・Hのオプションコースです。

坂下宿 街道ウォーク 注意事項

安全に楽しくウォーキングを楽しむために、はじめてに右記の注意事項を必ずお読みください。

- 体調が優れないときのウォーキングはやめましょう。
- 歩くコースの内容を事前にチェックし、スケジュールを立てて始めましょう。
- 一人のウォーキングは避け、グループで行動しましょう。
- 自然歩道を歩くときは、歩行の安全に十分気をつけてください。
- 車道沿いを歩くときは信号などの交通規則を守り事故に気をつけてください。
- 携帯電話が繋がらない場所もありますので連絡は事前に取り合ひましょう。
- 急激な天候の変化にも対応できる準備で歩きましょう。
- 周辺の自然環境に十分配慮し、山野草や枝などを採ることはやめましょう。
- 自分のゴミは必ず持ち帰りましょう。





鈴鹿峠から坂下宿を歩く

健脚

距離	16.4km	時間	4時間10分	土山SA→熊野神社→鈴鹿峠→坂下宿→JR関駅【790kcal】
	17.8km		4時間30分	土山SA→熊野神社→鈴鹿峠→坂下宿→JR加太駅【850kcal】

往時をしのぶ
鈴鹿峠の石畳や
のどかな坂下宿の家並を
楽しみながら歩く。



亀山ペット茶

亀山茶をボトルに詰めたものと、粉末をボトルで混ぜるタイプの2種類。
亀山茶農業(協)
TEL: (0595) 82-1328



法安寺 庫裏玄關

坂下宿本陣、松屋の門が再移築されている。
坂下宿の唯一の現存する遺構。

- 凡例**
- 高速道路・自動車専用道路
 - 国道
 - 一般道
 - JR

0 1km

坂下宿から鈴鹿峠までを往復してJR駅まで歩く 健脚😊



距離	12.3km	時間	3時間30分	坂下宿→鈴鹿峠→坂下宿→JR関駅【680kcal】
	13.7km		3時間50分	坂下宿→鈴鹿峠→坂下宿→JR加太駅【740kcal】



鈴鹿峠の坂道を
登り、下る。
景色の違いを味わいたい。

歴史
Check
チェック



鏡岩

昔、鈴鹿峠の山賊が往来する旅人の姿をこの岩に映して危害を加えたので「鬼の姿見」と呼ばれていた。



東海道

観音山公園

観音山 ▲224

大和街道

久我IC

関IC

名阪国道(自動車専用道路)

向井IC

加太駅

関駅

志ら玉

江戸時代より旅人に愛された銘菓。季節をあしらった三色の色どりが美しい。

前田屋製菓
TEL: (0595) 96-2008



歴史
Check
チェック



馬の水飲場跡

峠を越える馬がここで水を飲んだという水飲み場。

- 凡例
- 高速道路・自動車専用道路
 - 国道
 - 一般道
 - JR

0 1km



JR関駅から坂下宿を通りJR加太駅まで歩く

健脚

距離 15.8km 時間 3時間50分 JR関駅→坂下宿→JR加太駅【660kcal】



関宿から
坂下宿を経て
城跡のある
加太駅まで。

歴史
Check
チェック



岩屋観音

高さ18mの巨岩に三体の石仏が彫られている。隣接する清滝は「葛飾北斎の諸国滝めぐり」にも紹介されている。

JR関駅から関宿内
百五銀行手前の道を
左に曲がります。

START

関IC

久我IC

カメヤマ ローソク

世界のトップブランド
カメヤマのローソクは
当地発祥の逸品。

カメヤマ㈱
TEL: (0595) 82-3111



歴史
Check
チェック



灯籠坂

片山神社から右
手に折れた坂道
に立ち並ぶ灯籠
群。石畳は明治
期のもの。

凡例

- 高速道路・自動車専用道路
- 国道
- 一般道
- JR

0 1km

鈴鹿馬子唄会館から鈴鹿峠までの往復を歩く

標準 😊



距離 7.2km | 時間 2時間 | 鈴鹿馬子唄会館→片山神社→鈴鹿峠→片山神社→鈴鹿馬子唄会館 【410kcal】

唄を口ずさみ
険しい鈴鹿山を
歩いた馬子たちに
想いをはせる。

東海道

鈴鹿トンネルの手前に
上り下り共に国道1号から
旧東海道に入る道があります。

万人講常夜灯 ㊦

鈴鹿峠

鈴鹿トンネル

峠の
茶屋跡
馬の水飲場跡
灯籠坂

鏡岩

片山神社

片山神社の横を進むコースは
つづら折りで登っていきます。
国道1号の高架をくぐり抜けた
先にある広場の案内にしたがって
東海道へのコースを進んでください。

鏡岩へはコース途中の案内にしたがい
脇道に進むとあります。近くが崖なので
充分に注意してください。

岩屋観音

三子山
▲568

坂下宿

ビューポイント①

法安寺
㊦

バーベキュー鈴鹿峠

亀山みそ
焼きうどん

亀山名物・B級グルメは
一度食べたらやみつきに。
市内の飲食店でどうぞ。

亀山みそ焼きうどん本舗
TEL: 090-8550-8318

鈴鹿馬子唄会館
㊦

鈴鹿峠
自然の家
㊦

START

GOAL

関宿カルタ

関宿の町並みが絵と
句で書かれて
いる遊んで歴史を
学べるかるた。

NPO東海道関宿 服部氏
TEL: (0595) 96-0008



凡例
— 国道
— 一般道
— JR

0 500m

国土地理院電子ポータルより2万5千分の1地形図及び撮影段階図を使用

歴史
Check
チェック



片山神社

鎌倉時代に現在の地に鎮座。
鈴鹿頓宮の跡とも言われている。

朝九
鈴早
鹿立
越ち
えの折

歴史
Check
チェック

峠の
茶屋跡



伊勢と近江の国境には
松葉屋をはじめ6軒の茶屋
が立ち並び賑わっていた。
現在は石垣のみが残って
いる。



鈴鹿馬子唄会館から筆捨山までの往復を歩く

健脚

距離	5.0km	時間	1時間20分	鈴鹿馬子唄会館→沓掛→筆捨山→鈴鹿馬子唄会館【300kcal】
----	-------	----	--------	---------------------------------

街道の雰囲気が残る沓掛の町並みから
筆捨山の頂をめざしてみる。

歴史
Check
チェック



筆捨山

その昔画家の狩野元信が筆をとり描こうとしたが、風景が刻々と変わること描くことをあきらめたことからこの名がついた。

東海道

勾配のきつめな上りの階段が続きます。

沓掛の町並みが残っています。

筆捨山標高286.2m
という柱が立っています。
登山口から普通に歩いて約30分です。

筆捨山

東海自然歩道の看板が目印です。

歴史
Check
チェック

三子山

標高550m前後の頂が3つ並ぶ三子山。
かつてはこの山を鈴鹿山と呼んでいたとか。



登山口は工事車両の停まっている空き地で少しわかりにくいですが奥に進むと登山道が見えてきます。看板の横から進んでください。

START

GOAL

鈴鹿峠
自然の家

鈴鹿馬子唄会館



絵に描いた坂下

関の戸

寛永年間創業
京の都にも届け
られた歴史ある銘菓。
和三盆が美味しい。
(有)深川屋
TEL: (0595)96-0008



- 凡例
- 国道
 - 一般道
 - JR

自由に組み合わせて歩く【オプションコース】

AからEまでの各コースと組み合わせて、距離やランクの異なるコースをお楽しみください



三子山コース 健脚 😊

距離 5.1km | 時間 1時間30分

鈴鹿峠→三子山→東海自然歩道→熊野神社→鈴鹿峠 【320kcal】

林道ではなく東海自然歩道の看板がある細い道を進んでください。
鈴鹿峠から三子山の登山道は比較的歩きやすい道です。

高畑山コース 超健脚 😞

距離 8.0km | 時間 4時間

鈴鹿峠→高畑山→溝干山→坂下峠→
林道大滝線→片山神社→鈴鹿峠 【1080kcal】



筆捨山コース 標準 😊

距離 6.0km | 時間 2時間30分

沓掛→筆捨山→観音山→関ロッジ→
JR関駅 【540kcal】

初心者でも歩きやすい道が続きます。
主な分岐点には看板が立っていますが
筆捨山から観音山へ向かう途中に
看板のない分岐点があります。
そこは手すり替わりの鎖が続く道を進んでください。

凡例



国土地理院電子ポータルより2万5千分の1地形図及び陰影斜視図を使用

漆黒の夜空に輝く満天の星々。 坂下で浪漫を感じる夜を過ごす。



坂下宿周辺は夜になると美しい星空が広がります。地元有志らが市民をはじめ多くの人たちに星座や天体に興味を持ってもらえるよう、定期的実施する天体観測の会など、星に関わるイベントを開催しています。ロマンチックな夜を過ごしたい方にはおすすめのスポットです。



楽しむ

★ Star Festa ★ 親子でわいわい星まつり

毎年夏休みに開催される楽しいイベント。星空が美しい坂下で、天体望遠鏡での星空観察したり、1,000灯を超えるペットボトルを利用したキャンドルのあかりが楽しめる。会場の鈴鹿馬子倶楽部でコンサートも開催され、夏の夜を楽しむ多くの人で集まる。

●いきいきキッズ応援団のサイト(www.sekikids.net/)のトップ画面にある新着情報の星に関するタイトルをクリックすると★Star Festa★の詳細内容がご覧になれます。



観る

天文台 童夢 (どーむ)

鈴鹿峠自然の家の敷地内にあり、四方を山に囲まれ天体観測には最適。直径3.5mの開閉式半球型ドームの中に口径400mmのカセグレイン式反射望遠鏡が設置されている。他にエアース式のプラネタリウムも利用できる。



●問合せ先
亀山市教育委員会 生涯学習室
TEL 0595-84-5057 FAX 0595-82-6161

坂下周辺の
宿泊施設

鈴鹿峠
自然の家



廃校となった坂下小学校の木造校舎を利用した宿泊研究施設。1938に建てられた校舎はレトロな雰囲気漂う、国登録有形文化財でもある。豊かな大自然の中で、研修・キャンプ・合宿などができる。

●問合せ先
亀山市教育委員会 生涯学習室
TEL 0595-84-5057



正調鈴鹿馬子唄〈亀山市無形文化財〉

鈴鹿峠を発祥の地として、「坂は照る照る 峠は曇る あいの土山雨が降る…」と唄われた正調鈴鹿馬子唄。峠越えの情景や関の小万・丹波と作にまつわる逸話などが、鈴鹿峠越えの馬子たちによってうたわれたもの。現在は、正調鈴鹿馬子唄保存会のメンバーが伝統ある馬子唄を継承している。

●HPの亀山市歴史博物館サイトから、下記の順でクリックしていくと正調鈴鹿馬子唄の動画を見ることができます。
亀山市歴史博物館→亀山市史編さん→民俗編→(1)動画データベース→関の鈴鹿馬子唄



唄い継がれる鈴鹿峠の馬子唄は
聞く者を郷愁の世界に誘う。



楽しむ

“ええやん”さかした やまびこフェスタ

毎年11月に坂下地区自治会連合と坂下地区コミュニティの主催で開催されるイベント。地域住民が集い農産物の品評会をはじめ、農産品・加工品のセリ市、模擬店などで賑わう。

●問合せ先
鈴鹿馬子唄会館 TEL 0595-96-2001



観る

鈴鹿馬子唄会館

ドーム型の特徴ある外観が目立つ鈴鹿馬子唄会館。鈴鹿峠を発祥の地とする民謡・正調鈴鹿馬子唄や鈴鹿峠・坂下宿に関する資料が展示されている。木で作られたホールや会議室などを併設し、音楽発表会などの生涯学習に活用できる。

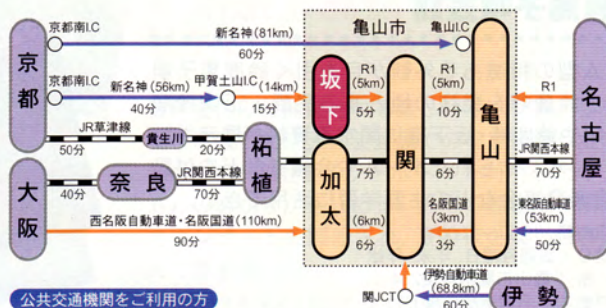
●開館時間／9:00～17:00
●休館日／毎週月曜日、年末・年始
●場 所／亀山市関町沓掛234
●アクセス／JR関駅から車で15分
●問合せ先／鈴鹿馬子唄会館 TEL 0595-96-2001





さがした、坂下。

交通のご案内



公共交通機関をご利用の方

- ◇貴生川駅からバスで『熊野神社』
- ◇大阪、京都、名古屋などから高速バスで『土山SA』
- ※JR関駅から坂下宿への移動はタクシーのご利用をおすすめします。

平成22年度 地域資源∞全国展開プロジェクト
東海道五十三次
鈴鹿峠 坂下宿 街道ウォーク りめぐり

■発行・問合せ先／亀山商工会議所
〒519-0124 亀山市東御幸町39-8
TEL.0595-82-1331 FAX.0595-82-8987
HP www.kameyama-cci.or.jp/ffm/
亀山商工会議所関支所
〒519-1111 亀山市関町新所664
TEL.0595-96-0330 FAX.0595-96-2326

■発行日／平成23年2月
■企画／亀山商工会議所
地域資源∞全国展開プロジェクト
観光プラン策定委員会
■編集・制作／office369番地
■協力／亀山市
亀山市観光協会
亀山あるこうかいクラブ
坂下星見の会
亀山市歴史の道ウォーク実行委員会



亀山市携帯サイト



坂下宿のお天気